

新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について

昨年11月24日以降における新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について、御報告いたします。

1. 新型コロナウイルス感染者の発生状況について

はじめに、むつ市内における新型コロナウイルス感染者の発生状況について御報告いたします。

全国的にオミクロン株による感染が拡大する中、当市においても明らかに局面が変わり、本年1月には32人、2月に入り既に211人の陽性者が確認されるほか、5件のクラスターが発生し、現在、新型コロナウイルス感染症に係るむつ市版の感染状況レベル分類ではレベル3の「対策を強化」する段階となっております。

こうした状況から、市対策本部から市民の皆様へ、「日常生活にない移動や市外の方との交流は控える」、「症状がある場合の通勤・通学はしない」、「家庭内でも感染対策を徹底」の3つのお願いをいたしました。

市民の皆様におかれましては、感染の拡大を防ぐため、今後も感染リスクの高い行動を控え、日々の生活を送っていただきたいと思いますと考えております。

2. 市有施設の利用制限について

次に、市有施設の利用制限について御報告いたします。

感染拡大防止のため、市有施設の利用については、1月22日から当分の間、むつ市内在住の方に限定し、利用の際は氏名や連絡先等の確認をさせていただいております。

なお、利用制限を解除する時期については、市内の感染状況の推移を見据えて、今後検討してまいります。

3. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種計画について

次に、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種計画（プロジェクトG）の進捗状況について御報告いたします。

＜3回目ワクチンの追加接種の状況について＞

まず、3回目ワクチンの追加接種の状況についてであります。先行した医療従事者への接種は昨年12月1日から、高齢者入所施設等の巡回接種は本年1月6日から開始し、いずれも1月末に完了しております。

また、2月1日からは、65歳以上の高齢者の皆様を対象とした個別・集団接種を開始しております。

現時点の接種状況につきましては、市全体の接種完了者は1万1,065人で、接種率は25.0%、65歳以上の接種完了者は7,982人で、接種率は45.1%となっております。

＜優先接種の実施について＞

次に、優先接種の実施についてであります。現在、当市では高齢者の皆様への接種が順調に進んでおり、集団接種での予約枠に余裕があることから、国の方針に基づき、64歳以下の一般の方の接種を前倒しで実施することといたしました。

まずは優先接種として、幼稚園・保育園等従事者、小・中・高等学校の教諭、警察官に加え、高校3年生世代の18歳の皆様については、2月26日及び27日、3月26日及び27日の日程で、むつグランドホテルでの集団接種を実施いたします。

また、妊婦の方につきましても、かかりつけ医での接種を基本とした優先接種を進めていくことといたします。

4. むつ市PCR検査センターの運用状況について

次に、むつ市PCR検査センターの運用状況について御報告いたします。

昨年12月に設置いたしました「むつ市PCR検査センター」につきましては、本年1月、県のPCR検査等無料事業に登録することで、むつ市独自の検査体制に加え、1日当たりの検査可能件数の増加、検査対象者を拡大する等の検査機能が拡充されております。

このことにより、むつ下北地域全体の感染症対策に大きく寄与するものと認識しております。

なお、これまでの検査件数は、12月1日から2月18日までの合計で1,193件となっております。

今後も感染対策に万全を期し、安心して検査を受けていただけるよう努めてまい

ります。

5. 自宅療養者に対する支援について

次に、自宅療養者に対する支援について御報告いたします。

1月に入り、当市においても医療提供体制のひっ迫が懸念される状況となったことから、むつ総合病院の負担軽減を図り、通常の医療提供体制を確保することを目的として、1月21日に社会福祉法人むつ市社会福祉協議会と当該支援に係る協定を締結いたしました。

なお、支援の内容は、自宅療養中の方に対する見守り並びに食料品及び日用品の買い物を代行するもので、2月20日現在、利用件数は5件となっております。

6. 経済対策及び雇用対策について

次に、経済対策及び雇用対策について御報告いたします。

<消費喚起事業の状況について>

まず、昨年10月以降に取り組んでまいりました消費需要を喚起する経済対策事業について御報告いたします。

はじめに、「プレミアム付飲食券事業」につきましては、1万3,488セットを販売し、10月から本年1月末までで6,300万円以上の消費を喚起しております。

次に、「むつ市のうまい生産者応援キャンペーン事業」につきましては、11月に実施し2万496件の応募がありましたことから、6,100万円以上の消費が喚起されたほか、総額約1,000万円のむつ市特産品を当選者への景品として進呈し、消費が鈍化している特産品の消費拡大とPRを図っております。

次に、「宿泊業消費喚起事業（GOGOむつ宿泊応援キャンペーン）」につきましては、用意した5,000泊に対し、1月31日までに4,482泊の御利用がありました。新型コロナウイルス感染症拡大により、2月4日から28日まではキャンペーン割引等の適用を中止しております。

次に、「むつ市プレミアム付商品券事業」につきましては、2月17日までに2万3,862セット、2億8,600万円相当が販売されており、市内の消費拡大に貢献しております。

今後におきましても適時的確な経済対策を迅速に実行してまいります。

<アツギ東北株式会社の国内生産業務終了に係る市の対応について>

次に、アツギ東北株式会社の国内生産業務終了に係る市の対応について御報告いたします。

去る1月20日、アツギ株式会社が「生産体制の再編に伴う国内生産子会社の生産業務終了に関するお知らせ」を公表したことにより、国内生産を担うアツギ東北株式会社むつ工場の閉鎖が明らかになり、私自身、大きな衝撃を受けるとともに、働いている従業員の皆様のことを考えると言葉にもならない思いでありました。

1月24日には大瀧次男議長と共に、アツギ株式会社の^{くどうひろし}工藤洋志社長及びアツギ東北株式会社の^{きたつよし}北剛志社長と面会し、両社長から新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド消費の消滅及びテレワークの普及や外出自粛による需要の激減に加え、生産コストの上昇などもあり、1月20日の取締役会において5月31日をもって国内生産業務を終了することを決定したとの報告を受けました。

私からは、会社の責任として、従業員の皆様に対しての一時金や退職金等できる限りの保障と、当市の玄関口に位置する下北駅前の土地と建物が廃墟になることがないように適切に取り組んでいただきたいこと、また、市の責務として、離職される皆様の雇用確保に最大限取り組むことをお伝えしております。

また、大瀧次男議長からは、従業員の皆様への保障に加え、工場周辺の事業者や取引業者への影響も心配しているとお伝えしていただいたところであります。

翌25日には、むつ公共職業安定所と意見交換し、今後、従業員の皆様の意向を確認の上、連携して再就職に向けた支援に取り組んでいくことを申し合わせており、明日2月22日には、むつ公共職業安定所、むつ労働基準監督署、青森県及びむつ市で構成される「アツギ東北離職者雇用対策本部会議」を開催することとしております。

アツギ東北株式会社むつ工場は、昭和41年にむつ市初の誘致企業として立地して以来、55年にわたり市の雇用を支え、市民の皆様は技術で会社を支えてきた歴史がありますが、市が把握する限りで、令和2年9月以降、200人以上の皆様が職を失っており、それに加えて今後、約500人の方々が職を失うということは、むつ市政史上最大の雇用の危機であり、業界に与える影響や生産技術の損失等を考えると国家レベルの危機と言っても過言ではないと考えております。

現時点では、アツギ東北株式会社からは生産終了に関する具体的なスケジュールや今後の対処方針が示されておりませんが、市といたしましては「アツギ東北離職者雇用対策本部会議」の各機関と連携し、地元企業による雇用確保に全力を尽くす

ほか、かつて無い規模の離職者の雇用確保には企業誘致による新たな雇用創出が必須であると考え、地元雇用と企業誘致を2本の柱とする緊急雇用確保対策を鋭意迅速に進めてまいります。

<企業誘致について>

次に、企業誘致について御報告いたします。

去る2月3日、株式会社エスプールグローバル、青森県及びむつ市の三者で立地協定を締結いたしました。

株式会社エスプールグローバルは、東京都に本社がある株式会社エスプールの子会社で、電話対応業務や事務代行業務を中心としたアウトソーシング事業を「自治体向け」及び「民間企業向け」の2軸で展開し、複数の業務を一括で運用することで業務の効率化やコスト削減を実現している企業であります。

このことから、当市においてもエスプール社の持つ知見や技術を活用することで、課題となっております住民ニーズの多様化、持続可能な行財政基盤の確立に対応し、住民サービスの向上、行政事務の効率化の取組を推進するため、同社との包括連携協定についても同日締結したところであります。

また、市との連携を迅速かつ効果的に進める上で必要となる事業所の開設を早急に行っていただくため、市役所本庁舎内へ事業所を開設することを提案したところ、3月中旬に40人の採用での事業開始が発表され、一片の希望をお届けできたものと考えております。

なお、このほかにも新規事業所開設について協議を行っている案件もありますが、今後の企業誘致においては時代の趨勢とともに衰退する労働集約型の「昭和の企業誘致」から脱却し、新しいビジネスモデルで市と企業がともに成長する「令和型の企業誘致」を積極的に進めてまいりたいと考えており、コロナ禍により大打撃を受けた雇用環境に対し、企業誘致を起爆剤とした雇用創出で乗り越えるべく全力で取り組む所存であります。

7. 子育て世帯への臨時特別給付金について

次に、子育て世帯への臨時特別給付金について御報告いたします。

昨年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、一定の所得制限の下、0歳から高校3年生までの子どもを対象に、当初は先行給付分として1人当たり5万円、追加分として同額の5万円の給付を行

うこととされておりましたが、当市においては迅速に補正予算の御議決を頂きましたことにより、対象世帯の方に10万円の一括給付を行うことが可能となりました。

これまでの給付実績額は、昨年9月分の児童手当の対象となっている申請の不要な2,504世帯分については、昨年12月27日付けで4億4,040万円、公務員や高校生のみ世帯の方等、申請の必要な1,392世帯分については、1月31日、2月16日及び2月17日付けで2億480万円となっております。

今後は給付金を受け取っていない方に対する申請の受付等に引き続き個別に対応してまいります。

8. 保育施設等の感染症対策の強化について

次に、保育施設等の感染症対策について御報告いたします。

2月上旬からの市内保育施設での感染症クラスターの発生を受け、保育施設の施設長に対し、これまでの基本的な感染対策に加え、「全クラスが密集、密接にして集まる活動は極力控えること」、「遊びや給食、行事等の活動はできる限り時間差又はクラス単位での実施とすること」、「延長保育時の感染防止対策の徹底」について、2月末日までの期限で要請しております。

さらに、2月15日には保育施設の施設長に参集いただき、3月6日までを感染対策強化期間として「風邪症状がある場合は登園しない」など、統一的に徹底して取り組むことを確認いたしました。

また、放課後児童健全育成事業、通称なかよし会の運営につきましては、対象を1、2年生の児童に縮小し、学年ごとの活動又は十分な距離を確保しての活動といたしました。

なお、幼稚園、保育園等が臨時休園となった場合に備え、キッズパークにおいて「代替保育」を実施しており、2月18日現在、登録者数は95人で、利用実績は延べ12人となっております。

9. 市内の小中学校における学校活動について

次に、市内の小中学校における学校活動について御報告いたします。

市内小中学校の冬休みが終了し、授業の再開に当たり、教職員及び保護者の皆様に対し、緊急事態措置適用地域又はまん延防止等重点措置適用地域に指定された都道府県との不要不急の往来は自粛するよう、1月11日付け文書にて通知いたしました。

この自粛のお願いに加え、児童生徒が部活動等の遠征や入学試験等により県外への移動があった際にはPCR検査を実施していただくこととし、無料で検査が実施できるよう市内の各学校に対し、検査キットを配付しております。

その後、国内の感染状況の悪化を受け、1月17日付けで、出張及び私用旅行における県外への往来自粛について、さらには、県内の感染状況の悪化を受け、1月25日付けでむつ下北地域以外との往来自粛について要請いたしました。また、校外活動等についても同様に、むつ下北地域以外の地域の方と接する可能性のある場合は教育活動を自粛することといたしました。

こうした中、2月に入り、学校関係者の陽性者が相次いで確認されたことを踏まえ、2月8日付けで、2月28日までの期間において、校内におけるクラスをまたいでの活動、通常の学習活動において接している教職員以外と接する可能性のある学校行事や校外活動、部活動、対外試合等についても原則禁止することといたしました。

なお、スポーツ少年団、各競技団体等に対しましては、以上の内容に準じた形で対応するよう要請いたしました。

また、学校関係者に陽性者が確認された影響により、これまでに市内の小中学校8校において全部又は一部の臨時休業措置となりました。休業措置となりました学校における学習の進捗状況につきましては、かねてより臨時休業等の措置が取られることも想定して学習活動が進められており、休業による遅れは極めて限定的であることから、次年度に持ち越すことがないものと認識しております。

以上、新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について御報告させていただきます。

今後も、国及び青森県の方針等に基づき、市民の皆様の安全と健康、そして日々の生活を守るため、これまで以上にきめ細かな対策を講じてまいりますので、御理解を賜りたいと存じます。